



広報紙
第
7-2
号

ミニ豊浦ふくし

こころ豊かに暮らせるまちづくり

(2025年)令和7年8月5日
豊浦地区社会福祉協議会
事務局 TEL 43-5985
E-Mail: toyourashakyo@net1.jway.ne.jp

今年度も敬老長寿お祝い事業を実施

今年度も、敬老長寿お祝い事業を実施します。80歳、85歳、90歳を迎える方および91歳以上の方に、ささやかですがお祝品を贈り長寿をお祝いします。内容は各単会ごとにお祝品やメッセージを用意して贈ります。なお、対象者にはハガキによりお知らせします。

【日立市の敬老長寿お祝い事業】

1.対象者

- ・今年度内に80歳、85歳、90歳になる方および91歳以上の方
- ・対象高齢者数
全市で8,508人・豊浦地区418人
(令和7年5月1日現在)

2.お祝品など

- ・各単会で用意したお祝品、小中学生の作文
- ・市長・実行委員長からのメッセージ

3.その他

- ・詳細は市報(8月20日号)を参照ください
- ・発送時期は9月中旬以降

高齢者の避難訓練を実施

6月21日(土)、豊浦地区の総合防災訓練に合わせて、高齢者の避難訓練を実施しました。当日は小貝ヶ浜集会所を一次避難所に指定して、小貝ヶ浜団地の災害時要援護者6名の協力をいただき行いました。

支援者と一緒に
避難所に向かう



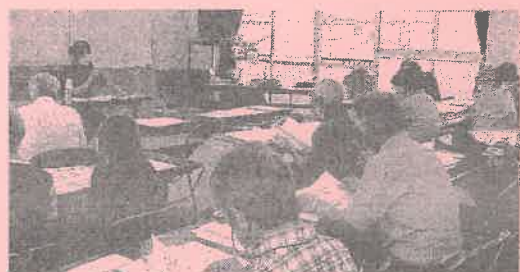
支援者には団地の協力者と民生委員の皆さんが対応しました。避難警報の時間に合わせて、支援者が要支援者宅に向かい、一緒に避難を開始して安全に一次避難所に避難できました。避難所では保健師の簡単な健康チェックを受け、異常ないことを確認しました。避難所では、豊浦地区内の7福祉施設の関係者にも出席をいただき、福祉施設の災害時の避難訓練や、福祉的避難者の受け入れ状況について説明を受け、情報交換を行いました。

「終活について」講演

豊浦地区社協では6月25日(水)に、健康づくり講演会を開催しました。サン豊浦理事長古徳氏と包括支援センター柴田看護師をお迎えして、今後の人生の歩み「終活について」と題して講演いただき、大勢の参加者が熱心に聴講されました。

古徳氏は、茨城県職員として長年社会福祉に携わり、退職後は県の社会福祉協議会を経て日立高寿園のサン豊浦に就任され、これまでの歩みと経験談の話がありました。

柴田氏からは、人生を振り返り前向きに日々を過ごしなが、エンディングノートに、自分の考えや希望を書き留めて、家族と共有することが大切とのことでした。困りごとがありましたら、サン豊浦包括支援センターにご相談くださいとのことでした。エンディングノートは、市役所にも置いてあります。



「終活について」熱心に聴講